

火花

急達 共産主義者同盟
緊通 東西地方委員公

7/4集会に主力結集し、9-11月安保決戦—世界革命戦争の開始に向け大衆的意志統一を打ちころう！
7/4組織過程を党体制の負的飛躍の場とせよ！

秋の安保決戦をめぐる党内論争は、ついに白熱した全党的討論を伴うかいつつ進行している。11月の方針をめぐって開始されたこの論争は本質的にドイッ革命の敗北以来、共産主義革命運動がまだ成功してない失業者田主における革命のあり方を問うものとして行われている。二回の内面地をとりこつたの提議を黨を中心にしたたわやれだ論争を通じてわが同盟の進むべき方向は除々に明らかになりつつある。

それはまず

二の論争は現段階で増進される二つの規範を以て今日の日本階級情勢の状況である。4/28からASPRAC斗争の過程は10/8を頂点とする日本階級斗争を一つのサイクルをえがいて終りをづけ、あらたな時代に入りつつある階級的情勢の前に二の時代を形成した主体の対応を問われていることである。われわれは10/8以降の11月の一時代をASPRACの国際主義と組織された暴力を擁護して革命的な進歩をいじめ、反戦米大衆を戦略的ターゲットにした。同盟は回本会を確立して三ノロツク前線斗争の結合—世界同盟軍の戦略的ターゲットを確立し、NATO—安保紛争、帝田主義の侵襲、新正、反革命の対峙、帝田主義の全社会的展開を全人民的政治斗争へのスローガンに、68年ASPRACの10/22は、東大田斗争、4/28は階級斗争の中へ革命的な進歩における戦略的地位を確定し、大衆を教育した。二の問われわれは全人民的政治斗争の内面地を田主権力斗争—マッセメントとして表現し、全階級—社会同僚隊の暴力を以て、地区別を中軸として地区別形式の形成と進歩を以て、社会統一戦線の下部を解体し、反帝統一戦線の具体的進歩を口づつてきた。本年6/15にわが口づつて来た方、大衆一カ余のヘルマン部隊の結集は、その必要を喚起するものがあり、その政治的団結の目的は帝田主義のベトナム戦争、反知保、反革命、反政府である。二の大衆的提議は11月安保決戦に向け大衆を教育して行くべきである。にもたわやれず、4/28—ASPRACの11月の

対立を鮮明にあらわれている如く反帝統一戦線と暴力の展開を一つの三つまじと示し、巨大な躍進を齎している。それは二の面の組織された暴力の主体をなし、全階級の基礎としての大衆を、東大、日本斗争を軸にして、全共斗運動を生み出し、帝田主義の再編に於ける大衆的斗争として階級上の切りつめる中で、暴力の直接攻撃をとり、ノンセクター、マッセメント運動を絶えず止揚される以外は維持できなくかりつつあり、従来の暴力からの安全な逃げ場としての放棄は行わなければならないこと。それらの内面地を衝動に表わす、いざ力関係は、大衆の自衛的武装の量的拡大もたわやれず、二の一面の終極としての治政の責任的エスカレーターの前を踏み進まなければならない。そして二の所

階級斗争の力関係の改善は、二の秋の安保決戦にたわやれず、二の面を田主権力斗争の戦略的な戦略のエスカレーターと見なすことである。今日の世界帝田主義階級情勢の再編は、日本に於ける三大階級の階級斗争が70年11月15日迄進歩していることである。世界階級斗争の現段階は、二の世界革命戦争を全人民的に全人民進歩にたわやれず、とりわけ、日本帝田主義の再編が著しく進行していることである。このベトナム戦争、カンボジア、タイに於ける大衆的進歩は、二の面を階級斗争の表、それらの年代初期に及ぶことを明らかにする必要がある。日本階級斗争の向背は決定的な位置を占めている。68年安保斗争は決定的に闘争の、70年安保斗争は、二の面を階級斗争の表、それらの年代初期に及ぶことを明らかにする必要がある。階級に引継がれることである。

11月斗争をきりぬく提議は、二の面を階級斗争の表、それらの年代初期に及ぶことを明らかにする必要がある。この中央権力斗争が70年代権力斗争の開始の時である。キコーバ、ベトナムを軸とした二の面を階級斗争の表、それらの年代初期に及ぶことを明らかにする必要がある。世界階級斗争は、二の面を階級斗争の表、それらの年代初期に及ぶことを明らかにする必要がある。

